

平成25年産米の放射性物質検査方法

二本松市地域農業再生協議会



測定下限値未満

【第1回検査】全袋検査

出荷された玄米について全袋検査を行い、測定下限値未満となった米のみを搬入します。

JA二本松南支店



検査玄米抽出

精米加工する前に、玄米全袋から1検体ずつ検査米として抽出し、付番により管理します。

給食用米測定所



【第2回検査】玄米全袋検査

抽出した検査米を測定所へ搬入、再検査を実施します。

JA二本松南支店（精米所）



検出限界値未満

精米及び検査精米抽出

測定所において検出限界値未満となった玄米のみ精米し、再度、精米200kgから1検体ずつ検査米として抽出し、付番により管理します。

給食用米測定所



検出限界値未満

【第3回検査】精米検査

抽出した検査用精米について、再測定を実施し、検出限界値未満であることを確認し、安全を確保します。

学校給食



http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/kome_seisan_qa.html
(農林水産省「米生産についてのQ&A」より抜粋)

Q17. 玄米を精米した場合、放射性物質濃度は変わりますか。
農林水産省において、放射性セシウムを含む23年産の玄米(40~160Bq/kg)を用いて精米試験を行い、放射性セシウム濃度を測定した結果、精米中の濃度は、最も高い場合でも玄米中の濃度の10分の4となりました。

また、福島県農業総合センターの研究によれば、精米及び炊飯試験の結果、炊飯した米(ご飯)中の濃度は、玄米中の濃度の約10分の1となりました。